

No. 2		土質柱状図		調査期間 昭和63年6月30日～昭和63年7月7日																
調査名 今宿公民館改築地質調査委託				調査地点				地盤高 16.25m		調査員 原雅樹										
調査地区 京南国市 東区 分館町 1146				ボーリング番号 210.2孔				地下水位 10.0m												
標尺 (m)	機地下水位 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質分類	色調	観察事項	標準貫入試験										試料採取		標尺 (m)
								深度 (m)	打撃回数 (回/cm)	N 値					深度 (m)	番号				
										(回/cm)	10	20	30	40	50					
1	▽	1.90	1.90		盛土	黄褐色	礫の多い砂等が混入した礫状砂である。	1.15 1.45	1 2 2 5	○						1.15 1.45	2-1	1		
2							中粒砂主体でシルトの混入量は下層に従って徐々に増加している。	2.15 2.50		35 35	○					2.15 2.50	2-2	2		
3								3.15 3.45	1 1 1 3	○						3.15 3.45	2-3	3		
4								4.15 4.45	1 1 1 3	○						4.15 4.45	2-4	4		
5		5.70	3.80		シルト 中粒砂	暗灰		5.15 5.45	1 1 3 5	○						5.15 5.45	2-5	5		
6							シルトが25～35%程度混入した中粒砂で粗砂が主になる。	6.15 6.45	1 1 1 3	○						6.15 6.45	2-6	6		
7		7.60	2.10		シルト 質粘土	暗灰		7.15 7.45	1 20 2	○						7.15 7.45	2-7	7		
8		8.25	0.65		質粘土	黄褐色	軟弱質である。	8.15 8.45	1 3 2 6	○						8.15 8.45	2-8	8		
9		8.80	0.55		砂	黄褐色	中粒砂が主体で少量の細砂が混入する。	9.15 9.45	3 2 3 8	○						9.15 9.45	2-9	9		
10		9.80	1.00		粗砂 中粒砂	黄褐色	非常に軟弱で11.00m付近より含水が多くなる。	10.15 10.50	15 20 35	○						10.15 10.50	2-10	10		
11		11.90	2.10		シルト	黄褐色		11.15 11.45	30 1	○						11.15 11.45	2-11	11		
12							粘着が大きく延々と固結度が進行した区間	12.15 12.45	2 1 1 4	○						12.15 12.45	2-12	12		
13		13.65	1.75		粘土	黄褐色		13.15 13.45	1 1 1 3	○						13.15 13.45	2-13	13		
14		14.30	0.65		砂	黄褐色	中粒砂で雲母が5～15%程度の細砂が混入した中粒砂である。	14.15 14.45	2 3 6 11	○						14.15 14.45	2-14	14		
15		15.80	1.50		礫状砂	黄褐色		15.15 15.45	3 3 4 10	○						15.15 15.45	2-15	15		
16		16.90	1.10		粘土 中粒砂	黄褐色	粗粒砂主体で粘土20～30%混入する。	16.15 16.45	6 6 6 18	○						16.15 16.45	2-16	16		
17							40～50%の未風化花崗石が15%程度混入する。	17.15 17.45	6 7 8 21	○						17.15 17.45	2-17	17		
18		18.70	1.60		礫状砂	黄褐色		18.15 18.45	6 4 6 16	○						18.15 18.45	2-18	18		
19		19.60	0.90		砂	黄褐色	20～30%程度の小礫が多く混入する。	19.15 19.45	11 17 18 46	○						19.15 19.45	2-19	19		
20							25.0m付近から風化著しく進行し割れ長石類は変質して粘土化している。	20.15 20.45	3 3 4 10	○						20.15 20.45	2-20	20		
21								21.15 21.45	3 4 4 11	○						21.15 21.45	2-21	21		
22								22.15 22.45	4 4 5 13	○						22.15 22.45	2-22	22		
23								23.15 23.45	5 4 5 14	○						23.15 23.45	2-23	23		
24							26.0m付近より徐々に岩組織が認められ、下層に従って未風化鉱物が多くなる。	24.15 24.45	3 4 4 11	○						24.15 24.45	2-24	24		
25								25.15 25.45	4 5 5 14	○						25.15 25.45	2-25	25		
26								26.15 26.45	4 5 6 15	○						26.15 26.45	2-26	26		
27								27.15 27.45	5 5 6 16	○						27.15 27.45	2-27	27		
28								28.15 28.45	6 6 7 19	○						28.15 28.45	2-28	28		
29								29.15 29.45	5 7 15 27	○						29.15 29.45	2-29	29		
30		30.60	11.00		マサ土			30.15 30.45	10 13 23 46	○						30.15 30.45	2-30	30		
31							一様に風化して砂状を呈し、石英は未風化でわずかに岩片を残す。	31.15 31.45	16 25 9 23	○						31.15 31.45	2-31	31		
32								32.15 32.45	16 20 14 24	○						32.15 32.45	2-32	32		
33								33.10 33.33	15 20 15 23	○						33.10 33.33	2-33	33		
34		34.00	3.40		風化花崗石	黄褐色		34.05 34.22	24 26 9 17	○						34.05 34.22	2-34	34		

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります。現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。

・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。